

「きこえにくい」って どんなこと？

お子さんが「きこえにくい」と言われたら？
「もしかしてきこえにくいのかも？」と思ったら？
「きこえにくさ」についてのお話です

大阪府立中央聴覚支援学校
聴覚支援センター・早期教育相談

「きこえにくさ」が考えられる場面

- ・ 新生児聴覚スクリーニング検査で「リファア」になった
- ・ 生活音や呼びかけに反応がない
- ・ 保育所等の先生からの指摘
- ・ 発語が出てこない（ことばが遅い）
- ・ テレビの音が大きい
- ・ うるさい場所で聞き返しが多い



新生児聴覚スクリーニング検査の「パス」は「難聴でないことが保障されている」ことではありません。「きこえにくいかも？」と思ったら、病院や相談機関に相談してみましょう。

「きこえにくいかも？」の相談先

- ・ 新生児聴覚スクリーニング後の相談は、主治医から紹介された医療機関

(参考) 日本耳鼻咽喉科学会HP → [お子様の難聴に関する情報 : \(jibika.or.jp\)](http://jibika.or.jp)

- ・ 近くのかかりつけ医
- ・ 各区の保健福祉センター
- ・ 聴覚支援学校の早期教育相談
- ・ 難聴児を対象にした児童発達支援センター



「きこえにくいかも？」と思っても、否定したい気持ちや、考えたくない気持ちになるかもしれません。相談機関ではそのような保護者の思いも大切にして相談を受け付けています。

難聴の診断・評価

難聴の確定診断は、耳鼻科の専門医によって行われます。

- ・ ABR・OAEなどの他覚的検査
- ・ BOA・CORなどの自覚的検査

各種聴力検査の結果を元に、補聴器の処方や身体障がい者手帳の交付、療育機関への紹介等が行われます。

聴力	難聴の程度
0～25dB	正常聴力
25～40dB	軽度難聴
40～70dB	中等度難聴
70～90dB	高度難聴
90dB以上	重度難聴

日本聴覚医学会による分類

難聴の程度ときこえの状況

難聴の程度	きこえの状況
軽度難聴	一対一の会話、大きめの声での会話は可能。小さな声、騒音下、集団での会話で聞き誤りや聞き逃しがある。
中等度難聴	近くで大きめの声での会話は可能。聞き誤りが増える。そのままでは言語習得が遅れることがある。
高度難聴	耳元での大きめの声はなんとか聞こえる。読話が必要。そのままでは音声言語の習得は困難。
重度難聴	補聴器を装用すると音や声は聞こえるが、内容を理解するのは難しい。音声言語の認識や習得には読話などの視覚情報がかなり必要。

「聴覚障害学」第2版を参考

上記の表はきこえの状況の一例ですが、乳幼児期は「きこえにくい」ことを周囲が実感しにくいです。

聴覚障がいによる影響の広がり

「聴覚障害学」第2版を参考

聴覚障がい	音や声などの聴覚刺激が入らない、入りにくい
一次的影響	①コミュニケーションへの影響 ・相手の話がわからない、自分の声のモニタリングができない
二次的影響	①心理的・情緒的側面への影響 ・孤立感、疎外感、不安感 ・周囲への関心・意欲の減退、疲労 ・音楽、テレビなど文化的楽しみの制限 ②音声言語習得への影響 ・聴覚フィードバックの制限による、音声言語習得・発音への影響
三次的影響	①経験・社会性・情緒的・認知的発達への影響 ②書記言語学習・教科学習への影響
四次的影響	①聴者集団、地域社会との交流、参加への影響 ②自立、自己実現、精神的安定、人格形成への影響 ③職業選択、就労、経済、結婚等への影響

聴覚障がいの影響は個人因子と環境因子が相互的に関係します。
適切な支援や配慮によって、影響が軽減したり解消したりします。

「きこえにくさ」を理解するために

【参考図書】

- ・ 「『きこえない！』でも大丈夫！」 (全国早期支援研究協議会)
- ・ 「聴こえない・聴こえにくい子どもの理解のために」
(ろう・難聴教育研究会)

同じ難聴の子どもを持つ保護者のお話や、大人の難聴の方のお話をきくことも「きこえにくさ」を理解することに役立ちます。お子さんのきこえの理解ための一歩を踏み出してみましょ

おわり